



Beans Phoenix

No.3

【JA福井県産大豆の復活とさらなる飛躍を目指して】

今年度大豆播種作業は、6月2日より始まり、播種の最盛期は6月6～10日となりました。発芽の状況は、6月上旬播きは1～1.5葉が展開し生育は良好です。今後、天候を見ながらの培土作業になりますが、遅れないように作業計画を立て効率的に行いましょう。

1. 令和3年産大豆作付け状況(6月24日現在)

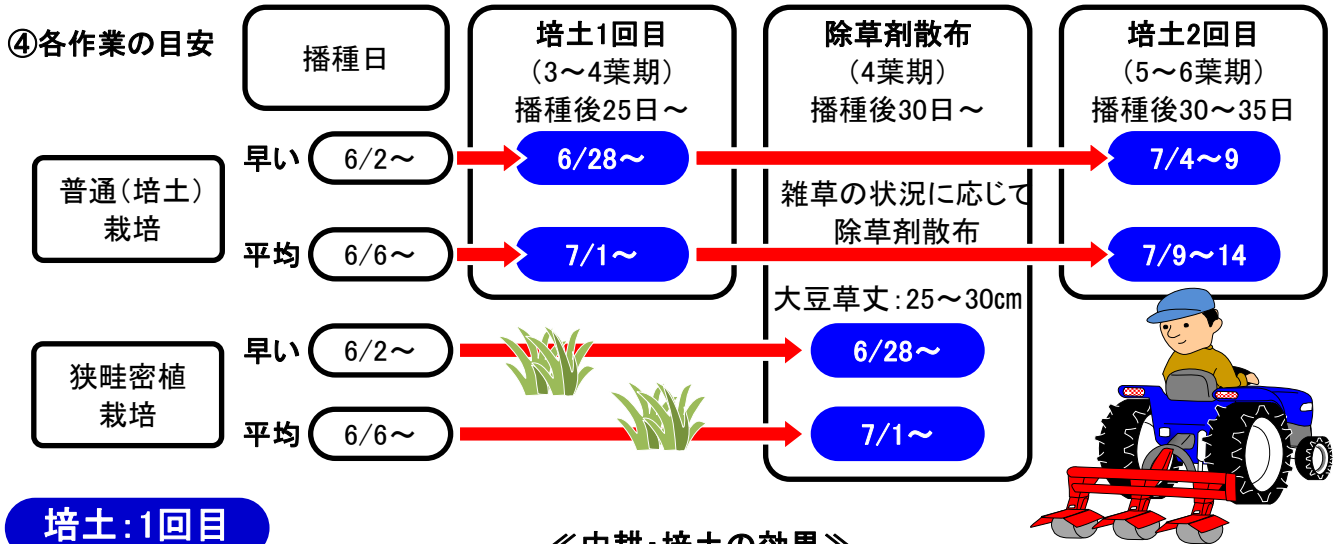
	北部	東部	南部	中央	西部	文殊	永平寺	合計	前年比
生産者数	9	7	5	4	5	5	1	36	86%
面積(a)	6,615	6,821	1,743	3,980	10,527	1,689	5	31,380	98%

2. 里のほほえみ、高収量・高品質へのポイント

①排水対策(初期生育の確保・ゲリラ豪雨への備え)

排水不良は、根の張りが浅くなるとともに、土壌通気性の低下を通して根粒菌の活性が低下します。排水口が額縁明渠低面より高い場合は、畔を切り、スムーズな排水に努める。

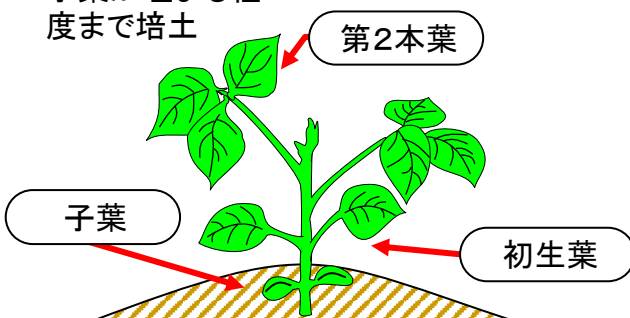
- ②普通(培土)栽培: 中耕・培土(生育量確保、雑草対策) 1回目は遅れずに晴れ間を逃さず実施しましょう。
- ③狭畦密植栽培: 茎葉処理除草剤散布(雑草対策) 大豆と雑草の生育スピードに注意し適期に散布しましょう。



培土:1回目

★2～3葉期 『播種後20～25日頃』

- 子葉が埋まる程度まで培土



《中耕・培土の効果》

- 排水性改善と土壌の通気性を高め、根粒活性が高まる。
- 茎から不定根が発生し養分吸収が高まる。
- 雑草の除草(抑制)。

培土作業のポイント

- 作業の前に培土機の調節や耕うん爪の点検。(すり減った爪は交換)
- 乾いた圃場から作業を行い、株元までしっかり土寄せする。
- 培土でできた溝は額縁排水溝や排水口に連結し、排水が速やかに行えるようにする。
- 雑草の発生状況や週間天気予報等で降雨が予想される場合は、前倒しで作業をする。